

# 丸木位里と故郷・飯室

## マップ作成、作品調査プロジェクト

プラットフォーム安芸飯室運営委員会  
広島大学教育学部造形芸術系コース

# 本プロジェクトの背景 — 平和を訴えた画家・丸木位里

丸木位里 (1901–1995)

現広島県広島市安佐町飯室出身

赤松俊子 (丸木俊) との連作《原爆の図》で広く知られる

世界を飛び回り巡回展を行い、平和活動に取り組んだ

戦前にはシュルレアリスムを取り入れた水墨画家としても高く評価



▲丸木位里 (左) と妻・丸木俊 (右) \*1



◀丸木位里・赤松俊子《原爆の図 第二部 火》  
屏風四曲一双 1.8m×7.2m 1950年  
原爆の図 丸木美術館蔵 \*2

➡平和を訴えた画家として広島を代表する人物である

(1) 画像提供：原爆の図 丸木美術館。“丸木位里・丸木俊について” .<https://marukigallery.jp/about/maruki/>, (参照 2022-3-17)

(2) 画像提供：原爆の図 丸木美術館。“原爆の図” .<https://marukigallery.jp/hiroshimapanels/>, (参照 2022-3-17)

# 本プロジェクトの背景 — 飯室地域の抱える課題と目的

丸木位里の故郷・飯室には彼の作品が多く残る

生前の位里と面識のある人や作品所蔵者の高齢化が進む

若い世代を中心に丸木位里が十分に周知されていない

現存する作品が失われてしまう可能性もある

飯室地域全体の高齢化と過疎化も



多くの人々に丸木位里の故郷・飯室の価値を再認識してもらう必要がある

# 連携した地域団体

## プラットフォーム安芸飯室運営委員会

長らく放置されていた廃線・旧可部線安芸飯室駅を改修し  
地域の交流の場「駅舎カフェ Romui」として活用

Romui を拠点に飯室地域の活性化運動に取り組む団体

2017年から計4回、毎年8月に《原爆の図》の複製画の展示を行い  
飯室地域での丸木位里の周知と平和活動に貢献

## 地域団体の願い

丸木位里の故郷・飯室を人々に伝え、飯室から平和を発信したい

---



▲旧安芸飯室駅「駅舎カフェ Romui」

# プロジェクト計画

【目的】丸木位里の出身地・飯室の価値の再認識

## 作品所蔵者

作品の保全と次世代継承

8月～11月

作品調査

## 地域住民

地元出身の画家・丸木位里の周知

12月

講演会・パネル発表

## 地域外の人々

飯室地域への訪問の促進

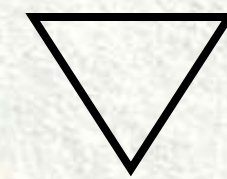
2月

作品マップ作成

# 実施状況

## 作品調査

○主要文献や飯室地域での取材を通して飯室にある作品・ゆかりの地の特定



## ○飯室での作品調査

- ・作品の基本情報（作品名／制作年／大きさ／素材／技法／所蔵先）
- ・保存状態
- ・所蔵の経緯 など

## インタビュー調査

○生前の丸木位里についてのエピソードの聞き取り



▲学生が調査をする様子



▲作品所蔵者に聞き取りをする様子

# 実施状況

## 講演会・パネル発表

2021年12月18日から27日まで安佐公民館でパネル展示

初日には原爆の凶丸木美術館から

専務理事・学芸員の岡村幸宣さんを招いて講演会

講演会には定員を超える人数の応募があり盛況

## マップ入り小冊子作成

パネルの情報に公開可能な作品のマップを掲載した小冊子

地元の公民館・小学校および平和記念資料館に配布



▲パネル展示で学生が説明をしている様子



▲小冊子掲載 丸木位里と飯室のかかわりマップ

# 成果

## 作品調査

調査を通して所蔵者に作品の状態や価値を直接伝えられた  
調査の中で新たに判明した情報があった

## 講演会・パネル発表

訪れた人が多く、地域全体での丸木位里に対する意識が高まった  
アンケートや質疑応答の場面で新たな情報を得られた

## マップ入り小冊子作成

公民館や小学校などで地域住民の学習に活用

## 【総評】

飯室の住民には地元出身の画家・丸木位里と飯室の価値を再認識してもらうことができたが、地域外の人々に関しては不十分か。また、平和発信の場としての飯室をアピールすることにも課題が残る。



▲地元の小学校での小冊子受け渡しの様子



# 今後の展開

パネル・小冊子を活用し、丸木位里と飯室の関係をさらに広く繋げる

## ①小学校や公民館での学習材としての活用

地元住民が丸木位里を知り、次世代に記憶が継承されていくように  
平和学習のきっかけとしても

## ②判明していない作品所蔵者や関係者の手がかりに

飯室地域での丸木位里に対する関心を高め、新たな情報が出てくることを期待  
所蔵者や関係者が判明すれば、さらなる調査を

## ③地域外の人々へ向けても丸木位里出身の地としてアピール

平和記念資料館での配布

# プロジェクトに参加して

## 作品調査を通して

作品調査の方法や作品の見方を学習することができた

## 講演会・パネル発表を通して

芸術を人々に伝えることについて考えることができた

## 現地の人々との交流から

丸木位里や彼の作品、芸術についての思いを聞くことができた

地域の人々とのつながりができた

## 地域団体の人たちからの声

知らないことが多く分かって面白かった・作品の見方が変わった  
地域運動の規模が大きくなってきている・学生の元気がもたらえた



ご清聴ありがとうございました。